

対馬博物館 開館記念 シンポジウム

2022年

4月30日 土

対馬市交流センター2階 イベントホール

駐車場に限りがございますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

参加費無料

先着250名
事前申込不要

全プログラム
動画配信します



詳細はこちら

午前の部 基調講演

(9:30 開場) 10:00-12:20



基調講演①
「宗家文書との出会い—56年間の歴史探訪—」

慶應義塾大学名誉教授・日本学士院会員
田代 和生



基調講演②(オンライン)
「対馬宗家文書との出会い」

韓国翰林大学国際問題研究所研究教授
李 薫

午後の部 パネルディスカッション

(13:00 開場) 13:30-15:30

テーマ「対馬宗家文書の可能性」

コーディネーター

■九州大学 名誉教授 佐伯 弘次

パネリスト

■文化庁文化財第一課 主任文化財調査官 地主 智彦
■修理工房幸匠株式会社 代表取締役 藤井 良昭
■東京大学史料編纂所 准教授 須田 牧子
■国立歴史民俗博物館 准教授 荒木 和憲

対馬博物館開館記念シンポジウム

対馬は古くから日本列島と大陸をつなぐ架け橋としての役割を担い、人や物が盛んに行き交う地域でした。そのため、対馬島内には独自の歴史や文化が育まれ、日本と大陸との交流を示す古文書や仏像、経典などの文化財も数多く現存しています。

対馬博物館は、このような貴重な文化財を後世に継承していくために整備されました。

対馬博物館の開館を記念し、対馬の代表的な文化財であり、国の重要文化財にも指定されている「対馬宗家文書」の可能性や今後の活用方法等について講演及び討論をいただくことで、市民の皆様と一緒に、対馬の文化財について考えていきます。

基調講演① 「宗家文書との出会い—56年間の歴史探訪—」

慶應義塾大学名誉教授・日本学士院会員 田代 和生



中央大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。慶應義塾大学文学部教授、慶應義塾大学大学院教授を経て、現在慶應義塾大学名誉教授。

専門は日本近世史および近世対外関係史。おもに前近代東アジア国際交流史、近世日朝貿易史、近世日本経済史などを中心に研究を進めている。

主な著書 『近世日朝通交貿易史の研究』(創文社、1981年)
『書き替えられた国書—徳川・朝鮮外交の舞台裏』(中公新書、1983年)
『日朝交易と対馬藩』(創文社、2007年) など

基調講演②(オンライン) 「対馬宗家文書との出会い」

韓国翰林大学国際問題研究所研究教授 李 薫



梨花女子大学校史学科卒業。筑波大学大学院歴史人類学研究科修了(文学博士)。大韓民国国史編纂委員会史料研究委員、東北亜歴史財団第一研究室長等を経て、現在、韓国翰林大学国際問題研究所研究教授。

専門は近世朝日交流史。おもに漂流と外交文書などを中心に研究を進めている。

主な著書 『朝鮮後期漂流民と日韓関係』(法政大学出版社、2008年) など

パネルディスカッション テーマ「対馬宗家文書の可能性」

コーディネーター



九州大学
名誉教授
佐伯 弘次

パネリスト



文化庁文化財第一課
主任文化財調査官
地主 智彦



修理工房幸匠(株)
代表取締役
藤井 良昭



東京大学史料編纂所
准教授
須田 牧子



国立歴史民俗博物館
准教授
荒木 和憲

タイムスケジュール

AM 基調講演

9:30 開場
10:00 あいさつ・講師紹介
10:10 基調講演①
「宗家文書との出会い—56年間の歴史探訪—」
慶應義塾大学名誉教授・
日本学士院会員 田代 和生

基調講演②(オンライン)
「対馬宗家文書との出会い」
韓国翰林大学国際問題研究所
研究教授 李 薫

12:20 休憩

PM パネル ディスカッション

13:30 コーディネーター・
パネリスト紹介

13:40 パネルディスカッション
テーマ
「対馬宗家文書の可能性」

15:30 閉会

全プログラム
動画配信します



詳細はこちら

注意事項

- ・本シンポジウムの録画・録音・撮影、また資料の無断転用は固くお断りいたします。
- ・ご来場の際は、マスクの着用や手指の消毒など、感染症対策の徹底をお願いいたします。
- ・当日受付時に、お名前・ご連絡先のご記入をお願いいたします。また、体調がすぐれない方のご入場はお断りする場合がございます。

※敬称略。内容は一部変更の可能性がございます。

